※令和３年度以前入学生用

学校番号	317

令和５年度　保健体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	現代高等　保健体育ノート　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てよう。

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。

・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。

2　学習の到達目標

球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	球技の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、競技のルールや審判の判定を遵守しようとすること、互いの技術の上達に向けて助け合い高めあおうとすること、審判や記録などの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。	自己の課題を解決するとともに生涯を通して「スポーツⅡ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができるようにする。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	技術、戦術、作戦及びその高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、審判法や競技会の企画・運営の仕方、初歩的な指導法、運動観察や動作分析の仕方などを理解することができるようにする。
評価方法	受講態度の観察　等	受講態度の観察　等	技能観察　等	受講態度の観察　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ベースボール型	オリエンテーション 野球 ソフトボール	○ ○	◎ ◎	 ○	○ ○	a:運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ベースボール型： a:球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている c:攻防を展開するための状況に応じたバット操作と状況に応じた守備などの動きができる。 d:技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 レポート
2学期	ネット型	バレーボール 卓球 テニス バドミントン	○	○	○	◎	a:フェアなプレイを大切にしようとしている b:これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。 c:空間を作り出すなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 d:球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

※令和３年度以前入学生用

３学期	ゴール型	バスケットボール ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ サッカー ラグビー	◎	○	○	○	a:役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 b:これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の挑戦する課題を設定している。 c:空間への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる d:技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。